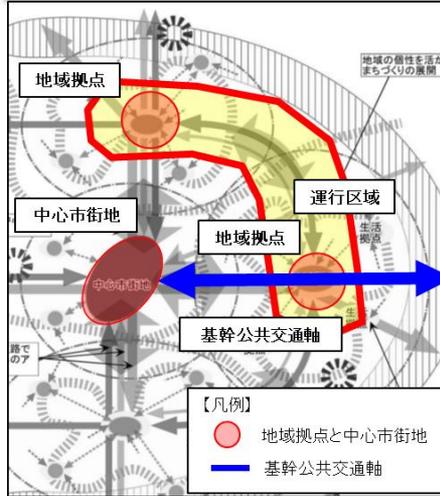


新たなコミュニティ交通の検討の方向性について（たたき）

- 人口減少・超高齢社会が進展するなか、市民の多様なニーズを踏まえ、新たなコミュニティ交通の検討が必要。
- エリア設定等について、複数パターンを比較検討し、効果的で実現可能な設定について検討を深める。なお、AI等の新技術の活用についても検討する。

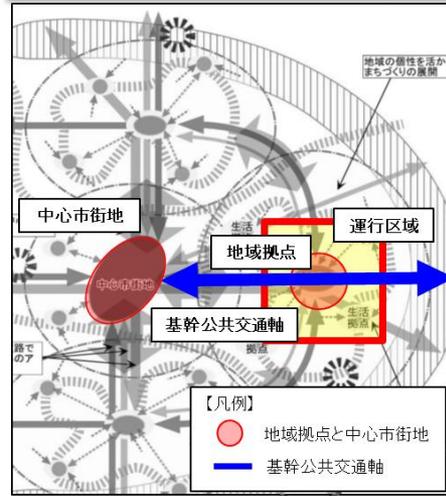
1. エリア設定等のパターン

【ケース①】地域拠点連携型



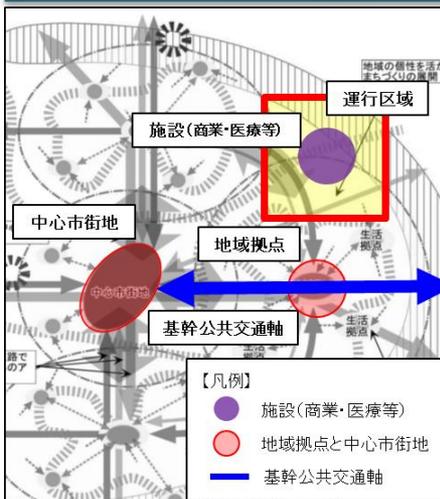
▲地域拠点連携型のイメージ

【ケース②】地域拠点中心型



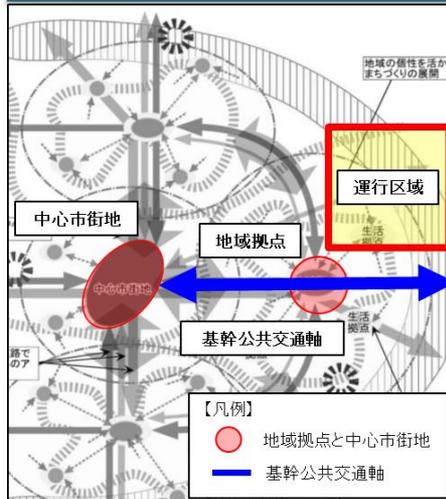
▲地域拠点中心型のイメージ

【ケース③】施設（商業・医療等）中心型



▲施設（商業・医療等）中心型のイメージ

【ケース④】郊外型



▲郊外型のイメージ

2. AI等の新技術の活用の事例（荒尾市）

- ・AIを活用し、複数の乗客が相乗りする予約型乗合タクシーを運行。
- ・荒尾駅を含む約5km四方を設定。平成30年度は約10日間の試験運行を実施。

①乗客Aから
迎車依頼②別の乗客Bから
迎車依頼③AIがルートを計算
乗客ABが乗合

▲AIを用いた予約型乗合タクシーのイメージ（荒尾市資料）



▲荒尾市の運行区域図